

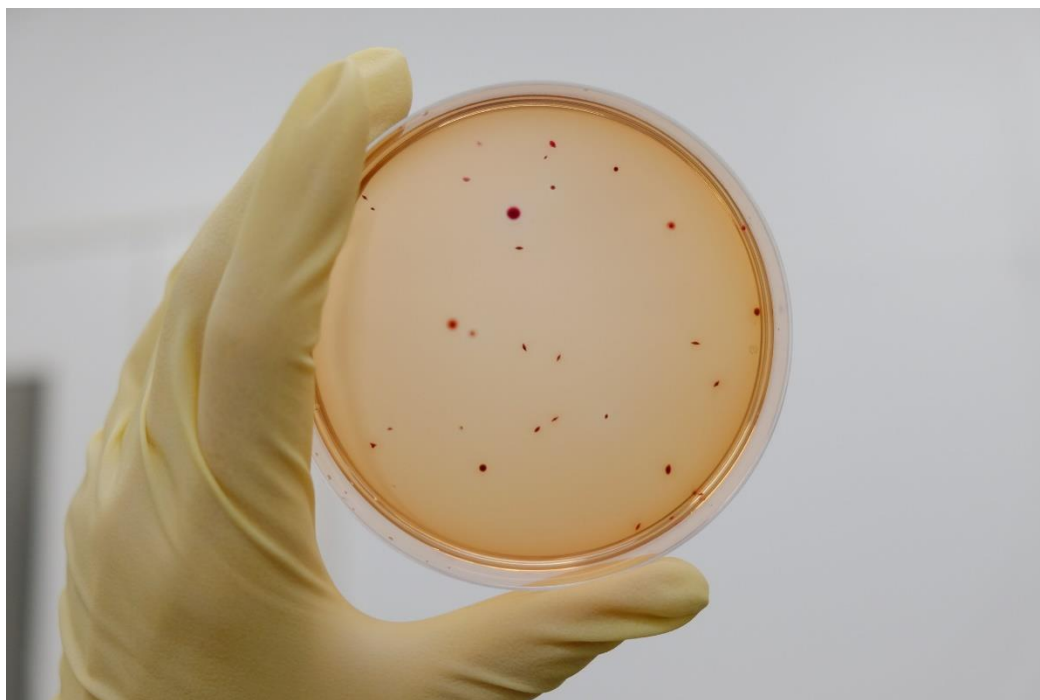
あいち県



2025/1/1

会報 第162号

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会



「コロニー出現」

第6回 写真コンテスト 「測定・分析」部門
銀賞作品

大橋 正美 氏 (株式会社愛研)

目次

年頭のご挨拶	2	「精度管理研修会② (中堅実務コース)」受講報告	6
委員会活動報告	3	「フットサル大会」開催報告	6
大規模地震による災害を想定した河川水の環境調査の訓練を実施しました	4	事務局からのお知らせ	8

四季折々

2024年は激動の一年であった。1月1日に石川県を震源に能登半島地震が発生、道は陥没しライフラインも寸断され多くの人命が失われる大災害が発生しました。

9月には石川県にて豪雨が発生し再興しかけた街並みがまた大きな災害に見舞われテレビ越しに見る光景には胸をえぐられるような悲しみに襲われた。

被害を受けられた皆さまへ謹んでお見舞い申し上げますとともに尊い命を無くされた方たちに哀悼の意を表します。

一日でも早い復興をお祈り申し上げます。

一方で大きくにぎわったパリオリンピック、パラリンピックが開催され手に汗を握る熱戦が続き寝不足の日々を送りました。個人的には女子柔道の阿部詩選手の敗戦してしまっただけの涙には心打たれました。

また、MLBではロサンゼルスドジャースに移籍した大谷選手の歴史的記録を塗り替えた、打って走っての大活躍をワクワクしながらテレビにて観戦しました。

話は変わるが筆者の趣味は堤防からの海釣りや猫の顔ほどの庭で行っている家庭菜園で有るが2024年の猛暑により釣りに行けば熱中症になりかけ長時間は出来ず、えさのエビも暑さで育たずエサ屋から姿を消し6月から9月は不調に終わりました。

家庭菜園ではナスやピーマンが暑さにより花を付けず、にんにくも普段より小さくなってしまった。トマトと青じそ以外はさみしい収穫となった。

9月末には岸田内閣から石破内閣に代わり今後、日本の景気が回復する事を願っている。

2025年は悲しい出来事が減り幸せに暮らせられる1年を迎えられればと祈らずにはいられない。

筆者も50歳を迎え体力面も落ちてきている。好きなお酒を飲まない休肝日を設けるか思案中である。

文責：石井 良孝

年頭のご挨拶

一般社団法人

愛知県環境測定分析協会
会長 大野 哲



新年あけましておめでとうございます。日頃は愛環協の活動にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、愛環協では初めてとなるフットサル大会を 10 月に開催いたしました。予想を上回る 100 名を超える動員数となり、大変盛況な大会となりました。開催にあたり、ご協賛を賜りました賛助会員と会員の皆様、企画運営をして頂いた企画・広報委員会の皆様に改めて御礼を申し上げます。

教育研修事業においては、オンライン開催により従来の中部エリアの参加者だけでなく、全国からも多数の方にご参加いただきました。また 11 月には、群馬県で行われた災害時相互応援協定締結団体の意見交換会では、「協定の実効性を維持・強化するためには ～体制構築と具体的な取組み～」と題して、愛環協と自治体との協定の運用について報告が行われ、11 月 18 日に実施されました協定を締結している愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市、一宮市との災害時の環境調査訓練についても報告いたしました。さらに能登半島地震と奥能登豪雨に見舞われた石川県環境計量協会の要請により、同月に同様の報告会を金沢市内にて行いました。愛環協の各事業に対する全国からの注目が高まった 1 年となりました。

昨年、10 月に行われた第 1 回ブロック会議では、社員の採用方法や若手技術者の育成方法、また適正な測定料金に関する悩みなど、各ブロックにおいて共通したテーマに対して活発な意見交換が行われました。愛環協のブロック会議は、他の県単にはない交流の場となっています。本年のブロック会議においても会員の皆様の課題を共有して、会員の活性化につながることを期待しておりますので、ご参加をお願いいたします。

愛環協では、人に良好な環境を保全する為に環境法令を遵守される企業・自治体に対し、測定分析を通じて貢献し、測定分析技術者の育成に注力してまいります。

今年も会員の皆様、並びに自治体や各関係機関のご協力を賜り、役員・各委員会・事務局一同、邁進したいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和 7 年 元旦

新春を迎えて

愛知県知事
大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい 1 年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、「ジブリの大倉庫」「青春の丘」「どんどこ森」「ものけの里」に続き、「魔女の谷」が誕生し、「ジブリパーク」がフルオープンしました。

そして、10 月には、2019 年の構想発表から 5 年をかけて整備してきた、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」がグランドオープンを迎えました。

世界中から注目を集める 2 つの施設の完成により、新たなステージへ、また一歩、大きく歩みを進めることができました。

今後も、これらの施設を起点に、世界中から、たくさんの人、最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知をさらに元気にしてまいります。

さて、今年 7 月、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IG アリーナ」がオープンします。スポーツやエンターテインメントの新たな拠点として、「ジブリパーク」や「STATION Ai」との相乗効果を生み出しながら、世界と大交流する愛知を創り上げてまいります。

また、愛知万博 20 周年となる今年は、3 月 25 日に「愛・地球博 20 祭」が開幕します。「ジブリパーク」ともコラボレーションしながら大いに盛り上げてまいりますので、ぜひ、楽しみにしていただきたいと思います。

2026 年の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」、2028 年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするプロジェクトが続きます。

グローバル化の進展や AI 等のデジタル技術の急速な発展など、世界が大きく変化する中、今後も、これらのビッグプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2025 年元旦

委員会活動報告

◇ 総務委員会

第 4 回の総務委員会を 1 2 月 1 3 日に開催し、次年度向けの「環境に関する喚起標語」の募集要領について検討しました。

次年度の標語テーマは「技術者教育（人材育成）」です。信頼性の高い環境計量証明事業は、測定分析技術者の人材育成に係っていると言っても過言ではありません。せっかく確立した知識や技術も、まず事業所内で継承されなければ、今後の発展はありません。次世代の環境計量を担う技術者の育成を促すような環境標語をお待ちしています。入賞者には賞状と副賞が贈られ、特選作品は次年度の協会公式ポスターに採用させていただきます。応募要領をご確認の上、1 月 2 4 日までに応募ください。結果は会報誌第 1 6 3 号で発表いたします。

また、3 月には「景況調査」を予定しております。お手数ですが、アンケートにご協力ください。

総務委員長 林 辰哉

◇ 企画・広報委員会

1 0 月 1 2 日(土)開催のフットサル大会については、本誌に開催報告を掲載しております。会員及び賛助会員の皆様のご協力により協会としても有意義なイベントとなりました。ありがとうございました。

また、皆様には「愛環協写真コンテスト」の募集もお願いしております。会報誌やホームページの表紙や記事を飾る作品をお待ちしていますので、たくさんのご応募よろしくお願い致します。

2 月 7 日に今年度 4 回目の委員会を開催いたします。社員総会特別講演及び、環境月間講演会の講師候補の選定、会報 1 6 3 号（4 月発刊）の監修、編集スケジュール等を確定する予定です。

協会の行事、広報活動に於いては、会員皆様のご協力が必須となります。本年も積極的なご支援を宜しく申し上げます。

企画・広報委員長 角 信彦

◇ 教育研修委員会

1 1 月 2 9 日にオンライン形式にて受講者 9 0 名を集め環境計量士等研修会を開催しました。①「愛知県における水質総量削減制度について」では愛知県環境局水大気環境課 小島徳久様からご講演いただきました。続いて②「PFAS

分析法の精度管理と対策技術の矛盾－単位の問題－」では国立研究開発法人産業技術総合研究所環境創生研究部門環境計測技術研究グループ 上級主任研究員 山下信義様から、③「JIS K 0102 の規格体系の見直しについて（第 3 回）－第 4 部及び第 5 部－」では株式会社環境科学研究所 品質保証部技術支援室 室長 牧原大様から、賛助会員 関東化学株式会社様からは④「試薬の取り扱いについて－自主的な化学物質管理の前に－」について学びました。

1 月 3 1 日には S O P 研修会を予定しています。多数のご参加をお待ちしております。

昨年は各研修会へ愛知県外を含め大変多くの方にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。本年も引き続き研修会の充実を図り、より多くの方に参加いただけるよう努め、会員の皆様のレベルアップに貢献したいと考えております。

教育研修委員長 濱地 清市

◇ 技術委員会（水質、大気、騒音）

☆水質・土壌ワーキンググループ

令和 6 年度第 1 回共同実験（模擬排水中の COD、BOD）の結果報告会を 1 2 月 1 0 日に会場およびオンラインのハイブリット形式で開催しました。結果報告の後はグループディスカッションも実施し、様々な意見交換が行われました。ご参加いただきありがとうございます。今後の運営の参考にさせていただきたいので、アンケートにご協力いただけると幸いです。

☆大気・臭気ワーキンググループ

令和 6 年度第 3 回共同実験（排ガス中の窒素酸化物）を 1 1 月 2 1 日に開催しました。1 9 社の方々にご参加いただき、現在ご報告いただいた結果を取りまとめております。2 月に開催予定の結果検討会では、共同実験の結果と技術者同士のディスカッションを予定しております。各々が抱えている課題を共有し、新たな知見を得ることを目指しています。

☆騒音・振動ワーキンググループ

新幹線騒音を対象とした、令和 6 年度第 2 回共同実験を 1 1 月 1 9 日に開催しました。7 社 1 3 名の方々にご参加いただき、現在ご報告いただいた結果を取りまとめております。2 月に開催予定の結果検討会では、共同実験結果の共有に加え、測定手法の改善や実験で直面した課題の解決策について議論する場にできればと考えています。

技術委員長 伊藤 諭志

◇ 災害緊急時対応委員会

災害緊急時対応委員会では、11月7日、8日に愛知県環境局資源循環推進課主催の「令和6年度災害廃棄物処理図上演習」に参加、11月15日には石川県環境計量協議会主催の環境技術研修会において災害協定に関する愛環協の取組について講演、11月18日には「大規模地震による災害を想定した河川水質調査の訓練」に参加、11月29日には災害時相互支援協定意見交換会に出席しました。

「大規模地震による災害を想定した河川水質調査の訓練」は、当協会と災害協定を締結している愛知県、豊橋市、豊田市、岡崎市、一宮市の5自治体での同日開催という形で実施いたしました。この訓練の詳細につきましては本号で別途掲載しておりますのでご覧いただくと幸いです。

災害緊急時対応委員会では11月に多くの活動が集中しましたが、委員と会員皆様のご協力により円滑に活動が進められましたことに感謝いたします。引き続き、災害協定に対して迅速に確実に対応できるよう取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

災害緊急時対応委員長 林 昌史

大規模地震による災害を想定した河川水の環境調査の訓練を実施しました

災害緊急時対応委員長
林 昌史

11月18日に愛知県環境局、豊橋市環境部、豊田市環境部、岡崎市環境部、一宮市環境部と当協会による災害時における環境調査訓練を実施いたしました。本訓練は、愛知県と当協会で開催した平成28年のアスベスト大気環境調査訓練から数えて9回目、中核市が参加しての参加訓練としては7回目(表1)となりました。

表1 これまでの訓練実績

実施年度	訓練内容
平成28年	アスベスト大気環境調査
平成29年	空間放射線量調査
平成30年	有害大気汚染物質(ベンゼン、トルエン等)
令和元年	アスベスト大気環境調査
令和2年	河川水環境(重金属類、ダイオキシン類等)
令和3年	河川水環境(重金属・農薬等の健康項目)
令和4年	アスベスト大気環境調査
令和5年	河川水環境(重金属・農薬等)
令和6年	河川水環境(重金属類)

本訓練は、「災害時における化学物質等の調査に関する協定」に基づくもので、訓練の内容は、阪神・淡路大震災や東日本大震災のような大規模地震時に多くの建物が倒壊

した実例から、大規模地震発生後の同規模の余震により河川に化学物質が流出した状況を想定し、河川水の環境調査の訓練を実施したものです。



訓練実施状況
(愛知県：津島日光橋)



訓練実施状況
(一宮市：川田橋)

今回の訓練の実施場所は、愛知県では日光川の津島日光橋、豊橋市では柳生川の下立合(しもたちあい)橋、豊田市では籠川の荒井橋、岡崎市では六斗目(ろくとめ)川の六斗目橋、一宮市では野府川の川田橋の計5か所で実施しました。訓練の内容は、河川水中の重金属類とし、地域の実情にあわせて自治体ごとに調査対象項目の選定が行われました。また、当協会から訓練に参加する会員の選定は、災害協力認定会員(43会員)への事前アンケート結果から、訓練未経験やこれまでの参加回数の少ない会員であることのほか訓練内容に対応する保有機材や移動距離等を勘案し5会員(表2)を選定させていただきました。

表2 訓練参加会員

自治体名	訓練地点	訓練参加会員	オブザーバー会員
愛知県	日光川 津島日光橋	(株)中央クリエイト	(株)イズミテック
豊橋市	柳生川 下立合橋	(一社)愛知県薬剤師会	(株)愛研
豊田市	籠川 荒井橋	中外テクノ(株) 名古屋支社	いであ(株) 名古屋支店
岡崎市	六斗目川 六斗目橋	(株)環境総合リサーチ 中部事業所	(株)テクノ中部
一宮市	野府川 川田橋	(株)名古屋環境 分析センター	サンエイ(株)



訓練実施状況
(豊田市：荒井橋)

また、訓練を実施する 5 会員以外にも自治体との実施に向けた協議から現地調査、結果報告までを見学するオブザーバー参加も受け付け、これにも 5 会員の参加を頂きました。訓練実施会員とオブザーバー参加会員全 10 会員のうち 2 会員は今回が初の参加となるとともに、過去に参加を頂いた会員でも初めて参加する職員の方も見え、訓練により実地体験を増やすことができたのではないかと思います。

訓練当日は午前 9 時に訓練を開始し大野会長の発令により当協会事務局内に「災害対策室」が設置され、大野会長と近藤事務局長が災害対策室に駐在し全会員に向けて災害対策室設置を周知しました。

その後、5 自治体それぞれから災害対策室に調査要請の連絡が入ると災害緊急時対応委員にも要請が伝えられ、訓練を実施する会員の選定（事前に選定済み）と調査を実施する旨の連絡を行いました。

その後、訓練参加会員とともに災害緊急時対応委員も担当する調査地点に出向き、橋梁上部または河道内に立ち入って河川水の採取やパケット等の簡易検査を行いました。

調査の終了後は、自社にもどり調査結果(模擬の調査結果)をとりまとめて電子メールで各自治体と当協会事務局に送信するとともに電話による調査結果の連絡を行いました。それを受け、当協会事務局から 5 自治体へそれぞれの要請に基づく調査の完了報告を行い、訓練は終了しました。



訓練実施状況（岡崎市：六斗目橋）

本訓練の実施は今回で 9 回を数えますが、平成 28 年度から令和元年度までにおいての自治体との訓練実施方法等の打合せは、細部にわたり協会事務局および災害緊急時対応委員が主となって実施し、その内容を訓練参加会員に周知するという方法で訓練を進めてきました。一方、令和 2 年度以降は、訓練実施方法の詳細は訓練参加会員と自治体が直接メールや電話等で打合せを行うことで進めていただきました。その間は自治体と訓練参加会員とのやり取りを災害緊急時対応委員および事務局でも共有し、必要に応じて協会としての対応を行いました。実際の災害発生時の現地調査実施に向けた打合せは、自治体と実施会員の間に連

絡・調整を行うこととなるため、実際に近い形での進捗ができたのではないかと考えております。また、調査対象は河川水質で統一していますが、水質汚濁のシナリオ、調査対象項目については自治体ごとに設定された点も訓練の進捗が実際に近い形となった点でも意義のある訓練となったのではないかと考えております。



令和 6 年 11 月 19 日 東愛知新聞 記事

また、訓練当日には豊橋市の下立合橋では東愛知新聞、岡崎市の六斗目橋では中日新聞の取材がありました。能登半島では本年 1 月に地震災害、9 月に水害が立て続けに発生したこともあり、災害に対する意識が高まる中、本協定の社会的意義と計量証明事業者としての使命を強く実感しました。

本訓練の計画と実施にあたりましては、愛知県環境局環境活動推進課様、豊橋市環境部環境保全課様、豊田市環境部環境保全課様、岡崎市環境部環境保全課様、一宮市環境部環境保全課様の全面的なご協力を頂いたことに深く感謝を申し上げます。

災害緊急時対応委員会では、今回の訓練で得られた知見を今後に生かすとともに、災害協力会員の結束を固め、有事に備えたいと思います。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



訓練実施状況（豊橋市：下立合橋）

精度管理研修会② 中堅実務コース受講報告

2024. 9. 19 から 20 開催
一般社団法人愛知県薬剤師会
阪野 佳南

9 月 19 日から 20 日に開催されました「精度管理研修会②【中堅実務コース】」にリモート参加させていただきましたのでご報告します。

環境計量に関わるようになり、分析結果を正しく取扱い、データを客観的に判断するためには、精度管理や統計について知識を深める必要があると感じていました。そのため、今回の研修会を通して、精度管理や統計について理解を深め、日々の業務に活かしたいと思い受講いたしました。

1 日目は「環境法令について」「サンプリング及び環境分析における精度管理」「機器分析の精度管理」についての講義がありました。

「環境法令について」では、法体系や法令用語、法改正について説明を受け、環境関連の法令について学びました。定期的に法の動向を追い、最新の情報を得ることが必要だと感じました。

「サンプリング及び環境分析における精度管理」では、水、大気、土壌のサンプリングの流れについて説明を受けました。目的に沿ったサンプリングを行うことや、教育訓練などを通して、習慣化していくことの重要性を学びました。

「機器分析の精度管理」では、分析に主に使われている機器の原理や精度管理、点検箇所のポイントについて学びました。機器の精度を保つために、日々の機器の点検が必要であることを再認識しました。

2 日目は「不確かさの検出」、「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」「相関分析・回帰分析」についての講義がありました。

「不確かさの検出」では、不確かさを理解するために必要な基礎知識の説明を受けた後、GUM が示す不確かさ評価の手順を、検量線から読み取った値の不確かさを例に、スプレッドシートを用いて学びました。

「数値の扱い方、下限、妥当性及び基本統計量」では、数値の丸め方、基本統計量について学び、数値に差があるかどうか Excel を用いて分散や自由度を求め、演習しました。妥当性評価を行う上で必要な自由度や期待値について改めて知ることができました。

「相関分析・回帰分析」では、Excel の分析ツールを用いて相関係数や母相関係数を求め、2 つのデータの相関関係の有無を検定し、評価する方法を学びました。実践演習をすることによって、より理解を深めることができました。

この 2 日間の精度管理研修で学んだことを、サンプリングから分析結果を評価するまでの一連の業務の流れに活かし、日々の業務に励んでいきたいと思います。

今回の研修を通じて法令、サンプリングの方法、機械のメンテナンス、分析方法、得られたデータの統計解析まで学ぶことができました。学んだことを実務に活かして技術の向上と精度管理の維持に努めていきたいと思います。

「フットサル大会」開催報告

2024. 10. 12 開催
株式会社環境科学研究所 佐藤 勇人

10 月 12 日、稲沢市にある「稲沢フットサルスタジアム」にて、愛環協主催のフットサル大会が行われました。

参加は協会所属の 10 社・9 チーム・96 名に及び、また 8 社及び大場恵史様（㈱東海分析化学研究所）よりご協賛を頂きました。

	チーム名	会員会社名
①	三進	㈱三進製作所
②	東亜クレイジーホース	東亜環境サービス㈱
③	チーム Blue Cat Bunta	いであ㈱
④	ラボ・ガランチード	㈱環境科学研究所
⑤	㈱日本環境分析センター	㈱日本環境分析センター
⑥	いづみ F. C.	㈱イズミテック
⑦	T T C. F C	(一財)東海技術センター
⑧	T a r a d o s	㈱東立テクノクラシー
⑨	走る！愛犬+RealStem	㈱愛研+㈱エステム

協賛企業（敬称略）

オザワ科学㈱、㈱島津製作所名古屋支店、㈱愛研、㈱イズミテック、いであ㈱、㈱環境科学研究所、(一財)東海技術センター、㈱日本環境分析センター



稲沢フットサルスタジアムは2階が受付になっており、愛環協は、その受付の横に「フットサル大会参加者受付窓口」をAM10時より設置しました。この時点の外気温は23℃と、秋にしては暖かい温度でした。

そこから、開会式のAM11時半までの1時間半の間に、本日の参加者すべての方の受付が完了しました。

AM11時半までに、参加者は皆、1階のフットサルコートへ降りました。

ここでは試合をするための大きな2面のコート（Aコート・Bコート）があり、向かって右側がAコート、左側がBコートでした。



またそれ以外に、試合前の調整用のコートも数コート用意がありました。

まずは全員左側のBコートに整列しました。甲子園のごとく、チームごとに縦に並びました。

開会式では、ルール説明のほか、愛環協の大野哲会長の挨拶がありました。大野会長の挨拶は以下の通りです。

「今日はこんなにもたくさんの皆様にお集まりいただきまして、ありがとうございました。愛環協の事業に日頃からご協力いただきまして、ありがとうございます。また今日のフットサル大会を企画してくださった、企画・広報委員会の皆様、企画から準備、本日の運営まで実行していただきまして、本当にありがとうございます。愛環協では、普段皆様は、研修会などのお仕事で顔を合わせる機会があると思います。それに加えて、こうして、たくさんの方々が一同に集まって、楽しみながら交流できるという機会があるということは、本当に素晴らしいことだと思います。今日は100名近い皆様が集まりました。これだけの大人数が参加する大きな大会になるとは、企画・広報委員会の方々も、当初は考えてはいらっしゃらなかったかもしれません。今日は皆様、怪我のないように、楽しくプレーをして、楽しい時間をお過ごしください。今日の大会に当たりまして、こちらの横断幕に掲載があります、協賛企業の方々にもご協力をいただきました。ありがとうございました。今日は愛環協の歴史に残る、大きなイベントとなります。繰り返しとはなりますが、どうか怪我のないように、楽しんでください。」

PM12時少し前、最初の試合が始まりました。このときの外気温は26℃でしたが、冷暖房完備の室内型スタジアムのため、ただ過ごす分には快適でした。しかし、冷房がしっかりと利いているとはいえ、この後プレイヤーたちは相当暑い思いをすることになるのです。

第1戦目は、予選Aリーグから開始し、第2戦目から、予選Aリーグと予選Bリーグの2試合同時プレーとなりました。ここでは、AリーグとBリーグ内でそれぞれ総当たり戦となりました。丸数字は対戦順、○×△は勝敗、数字は対戦結果です。

予選Aリーグ

チーム名	三進	東亜クレイジーホース	チームBlue Cat Bunta	ラブ・ガランテード	㈱日本環境分析センター	○	△	×
三進	-	①△4-4	⑥×2-5	⑨○4-2	③△3-3	1	2	1
東亜クレイジーホース	①△4-4	-	④×4-5	⑦○7-2	⑩○7-3	2	1	1
チームBlue Cat Bunta	⑥○5-2	④○5-4	-	②○5-3	⑧○4-2	4	0	0
ラブ・ガランテード	⑨×2-4	⑦×2-7	②×3-5	-	⑤○4-2	1	0	3
㈱日本環境分析センター	③△3-3	⑩×3-7	⑧×2-4	⑤×2-4	-	0	1	3

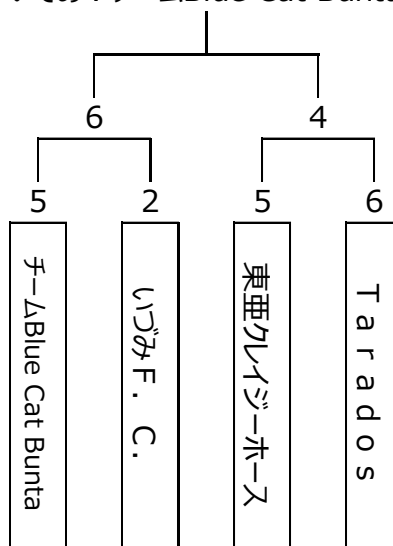
予選Bリーグ

チーム名	いづみF. C.	TTC. FC	Tarados	走る!愛犬+RealStem	○	△	×
いづみF. C.	-	②○3-2	⑤×4-5	⑧○4-2	2	0	1
TTC. FC	②×2-3	-	⑨○5-4	⑥○4-2	2	0	1
Tarados	⑤○5-4	⑨×4-5	-	③○5-2	2	0	1
走る!愛犬+RealStem	⑧×2-4	⑥×2-4	③×2-5	-	0	0	3

これらの試合の末、予選Aリーグからは「チームBlue Cat Bunta」と「東亜クレイジーホース」が1位～4位決定戦へ進出！予選Bリーグでは2勝1敗に3チームが並ぶ熱い展開でしたが得失点差、総得点、直接対戦結果から「いづみF. C.」と「Tarados」が勝ち上がりました。

その後の決勝トーナメントや順位決定戦の結果は下記の通りです！

いであ：チームBlue Cat Bunta



<順位位決定戦>

	チーム名	結果	チーム名
3位決定戦	東亜クレイジーホース	6-3	いづみF.C.
5位決定戦	三進	4-4	TTC.F.C
7位決定戦	走る！愛犬+RealStem	4-3	ラボ・ガランチード

1位・優勝は「いであ：チーム Blue Cat Bunta」、2位・準優勝は「東立テクノクラシ-：Tarados」、3位は「東亜環境サービス：東亜クレイジーホース」、4位は「イズミテック：いづみF. C.」でした。

PM2時半より、閉会式と同じ、左側Bコートで、閉会式が執り行われました。

閉会式では、表彰式があり、1位～3位の会社が表彰を受けました。



そのほか、大会MVPや、50歳以上のプレイヤーの部、女性の部での個人表彰がありました。

その後に、企画・広報委員会の石井良孝副委員長から閉会の挨拶がありました。石井副委員長の閉会の挨拶は以下の通りです。

「今日の大会でお怪我をされた方はいらっしゃいませんか。(一同、首を振る)大丈夫ですね。安心しました。今日は秋晴れの中で、大変たくさんの方にご参加いただきまして、盛り上がりつつフットサル大会をすることができました。これも、企画・広報委員会の日野栄一委員を始め、今大会の本部系の皆様が、しっかりと準備していただいたお陰で、大会開催に漕ぎ着けることができました。皆様、大きな拍手で、日野委員を始めとする本部系の方に賛辞を贈ってください。(拍手)ありがとうございました。今日はお疲れ様でした」

今回のフットサル大会は、100名近い参加者が、お互いに鎬(しのぎ)を削り、またお互いをリスペクトしながら、とても良い交流ができました。

大会後は、参加希望者を募り、30名の参加者が名古屋市中村区名駅に移動し、懇親会を行いました。中国料理店にて、お互いの健闘を称え合いながら、楽しく打ち上げ食事をし、この日の締めといたしました。

事務局からのお知らせ

【SOP(標準作業手順書)研修会】
令和7年1月31日(金)
Niterrra 日本特殊陶業市民会館(予定)

【共同実験(大気関係)結果検討会】
令和7年2月14日(金)
Niterrra 日本特殊陶業市民会館(予定)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
「あいかんきょう」162号をお手に取っていただき誠にありがとうございます。
編集作業をしている現在は、まだ12月初旬、これから年末といった所ですが、12月とは思えない陽気に地球温暖化をひしひしと感じます。

この「あいかんきょう」は会員企業の皆様のご寄稿により構成されています。

会社は違えど環境に関わる仲間として、皆様の知見や経験を共有できるような「あいかんきょう」であり続けられるよう、今後ともご協力をお願いいたします。

加藤



発行人 (一社)愛知県環境測定分析協会
会長 大野 哲
〒460-0022
名古屋市中区金山1-2-4
アイディエリア405号
TEL: 052-321-3803
FAX: 052-684-4238
E-mail: aikankyo@nifty.com

編集 (一社)愛知県環境測定分析協会 企画・広報委員会
委員長: 角 信彦
副委員長: 石井 良孝、大場 恵史
委員: 山本 浩明、加藤 直孝、中野 雅則、
松本 貴郁、日野 栄一、小西 成実、佐藤 勇人